

# 新ごみ焼却／不燃・粗大ごみ処理／廃プラ中間処理施設建設 についての公開講座の開催報告

2019年11月02日

11月02日に南街公民館にて標題の公開講座を「市政をみんなで考える会」主催で開催されました。当日は約50名の参加者があり、当該施設の建設を実施(計画)している小平・村山・大和衛生組合(以下衛生組合と言う)の片山様及び伊藤様にご出席して戴き、予め本日の公開講座に向けて提出した質問状の内容に沿って質疑を進めました。講座は先ず衛生組合側から3種の工場の建設状況(計画)の説明がされ、以降柳下様が議事進行役で公開講座が実施されましたが、衛生側からの説明が市民とかみ合わない場面もあり、約3時間議論を重ねましたが、最終的には今後もこの公開講座の継続する方向で今回の公開講座は終了しました。

衛生組合

市民側



参加の皆様



使用した資料は以下の通りです。

# 小平・村山・大和衛生組合の概要

令和元年度

## 1 組織市

小平市、東大和市、武蔵村山市

\*人口=計 351,358 人(小平市 193,588 人、東大和市 85,337 人、武蔵村山市 72,433 人) 平成 31 年 4 月 1 日現在

## 2 設立の経緯

\*昭和 35 年に当時の小平町が、現在の場所(小平市中島町)に焼却場を建設する。

(当時の人口:4 万 6 千人。最初の焼却炉〔固定炉〕の処理能力:19 t/日)

\*昭和 40 年 2 月 1 日に 1 市 2 町(小平市、村山町、大和町)による一部事務組合を設立し、共同処理に移行する。既存の施設により事業を行う。

## 3 組織

**組合議会** 議員:組織市の市議会議員から各 4 名ずつ選出(12 名)

**理事者** 管理者:小平市長

副管理者:東大和市長・武蔵村山市長

助役:小平市副市長(1 名)

**監査委員** 識見者 2 名

組合議員 1 名

**事務局**

事務局長

総務課

業務課

会計管理者

計画課

参事(施設更新)

## 4 施設の概要

### (1) ごみ処理施設

○敷地面積 約 16,700 m<sup>2</sup> (ほか(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備用地 約 3,700 m<sup>2</sup>)

### ○焼却施設

・3号炉 処理能力:150 t/24h 昭和 50 年 3 月竣工(平成 2 年度改修)

・4号炉 処理能力:105 t/24h 昭和 61 年 11 月竣工

・5号炉 処理能力:105 t/24h 昭和 61 年 11 月竣工

(平成 14 年度:排ガス高度処理施設の設置、平成 15 年度~平成 18 年度:部分更新事業)

### ○粗大ごみ処理施設

処理能力:75 t/5h 昭和 50 年 10 月竣工(平成 9 年度鉄・アルミ選別装置改修)

### ○その他の施設

・不燃物積替場 面積:約 690 m<sup>2</sup> 昭和 43 年 12 月竣工

・廃水処理施設 処理能力:51 m<sup>3</sup>/24h 昭和 50 年 3 月竣工

### (2) 余熱利用施設

・足湯施設(こもれびの足湯) 面積:約 1,140 m<sup>2</sup> 平成 19 年 3 月竣工(4 月 14 日供用開始)

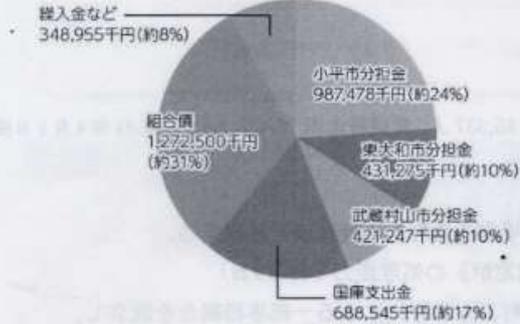
### (3) 資源物中間処理施設(愛称:エコプラザ スリーハーモニー)

○敷地面積 約 4,300 m<sup>2</sup>

処理能力:ペットボトル 6 t/5h 容器包装プラスチック 17 t/5h 平成 31 年 4 月竣工

## 5 財政（令和元年度一般会計予算）

歳入予算総額 41億5,000万円



歳出予算総額 41億5,000万円



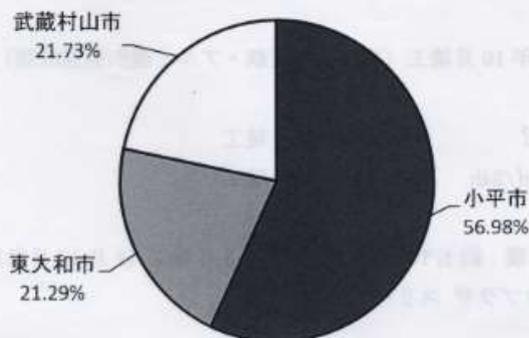
## 6 ごみ・資源物の処理の流れ

各市で出されたごみ・資源物は、次のように処理されます。



## 7 ごみ搬入実績

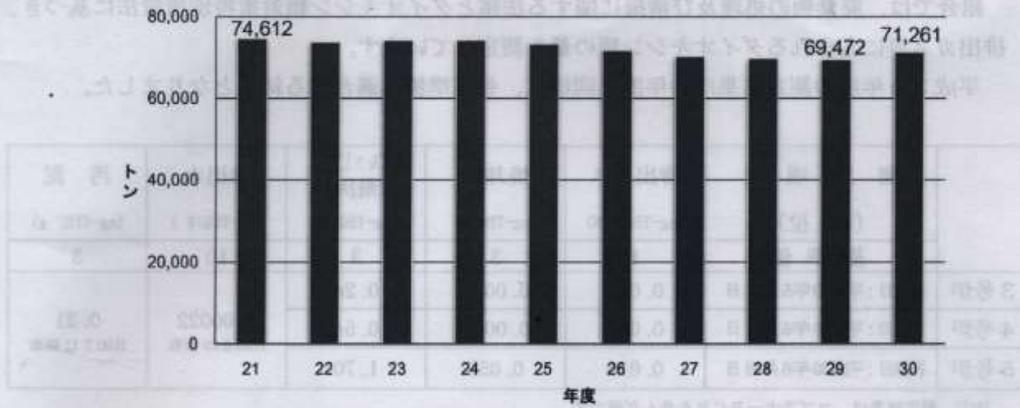
平成 30 年度市別搬入量



小 平 市	40,601 ト
東 大 和 市	15,173 ト
武 蔵 村 山 市	15,487 ト
合 計	71,261 ト

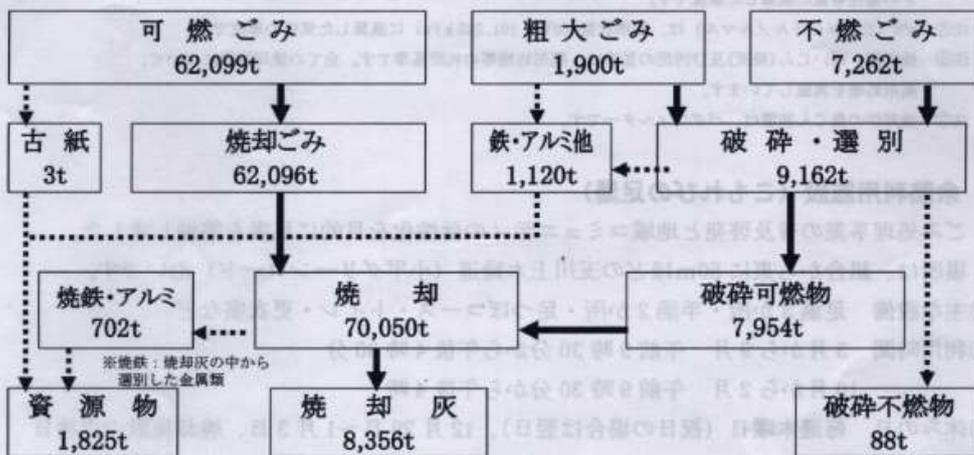
※資源物の中間処理は、令和元年度からのため、平成 30 年度までの実績はありません。

ごみ搬入量の推移 (3市合計)

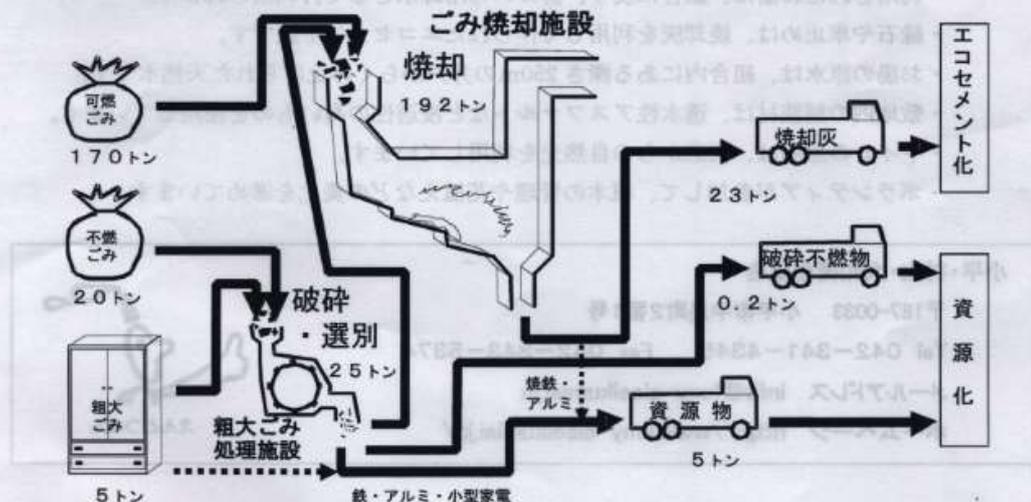


8 ごみ処理実績

平成30年度に処理したごみの量は次のとおりです。【総搬入量 71,261 トン】



9 ごみ処理の流れと1日当たりの処理量



## 10 ごみ焼却施設ダイオキシン類調査結果

組合では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律とダイオキシン類対策特別措置法に基づき、排出ガス等に含まれるダイオキシン類の量を測定しています。

平成30年度の測定結果は昨年度と同様に、各基準値に適合する結果となりました。

	測定項目 (単位)	排出ガス (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	焼却灰 (ng-TEQ/g)	ばいじん (飛灰) (ng-TEQ/g)	排出水 (pg-TEQ/l)	汚泥 (ng-TEQ/g)
	基準値	1	3	3	10	3
3号炉	採取日:平成30年5月31日	0.071	0.0085	0.24	0.00022 H30.6.29採取	0.21 H30.7.11採取
4号炉	採取日:平成30年6月1日	0.070	0.0099	0.54		
5号炉	採取日:平成30年6月29日	0.016	0.059	1.70		

注① 測定結果は、コプラナーPCBを含んだ値です。

注② 1ng(ナノグラム)は、10億分の1グラムです。

注③ 1pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムです。

注④ TEQは、毒性等量のことです。ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。

注⑤ m<sup>3</sup>N(立方メートルノルマル)は、標準状態(0℃、101.325kPa)に換算した気体の単位です。

注⑥ 焼却灰、ばいじん(飛灰)及び汚泥の基準は、薬剤処理等の判断基準です。全ての焼却施設において、薬剤処理を実施しています。

注⑦ 焼却炉の集じん装置は、バグフィルターです。

## 11 余熱利用施設(こもれびの足湯)

ごみ処理事業の普及啓発と地域コミュニティの活性化を目的に足湯を整備しました。

場所は、組合から東に50mほどの玉川上水緑道(小平グリーンロード)沿いです。

○主な設備 足湯3か所・手湯2か所・足つぼコース・トイレ・更衣室など

○利用時間 3月から9月 午前9時30分から午後4時30分

10月から2月 午前9時30分から午後4時

○休みの日 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日、焼却施設の点検日

○施設の特徴

- ・お湯は、ごみ焼却炉の余熱を利用して作られます。
- ・利用されたお湯は、組合に戻り、排ガスの冷却水として再利用されます。
- ・縁石や車止めは、焼却灰を利用して作られたエコセメント製です。
- ・お湯の原水は、組合内にある深さ250mの井戸からくみ上げられた天然水です。
- ・敷地内の舗装材は、透水性アスファルトなど浸透性の高いものを使用しています。
- ・トイレの照明は、天窓からの自然光を利用しています。
- ・ボランティアが参加して、植木の管理や花植えなどの美化を進めています。

### 小平・村山・大和衛生組合

〒187-0033 小平市中島町2番1号

Tel 042-341-4345 Fax 042-343-5374

メールアドレス info@kmy-eiseikumiai.jp

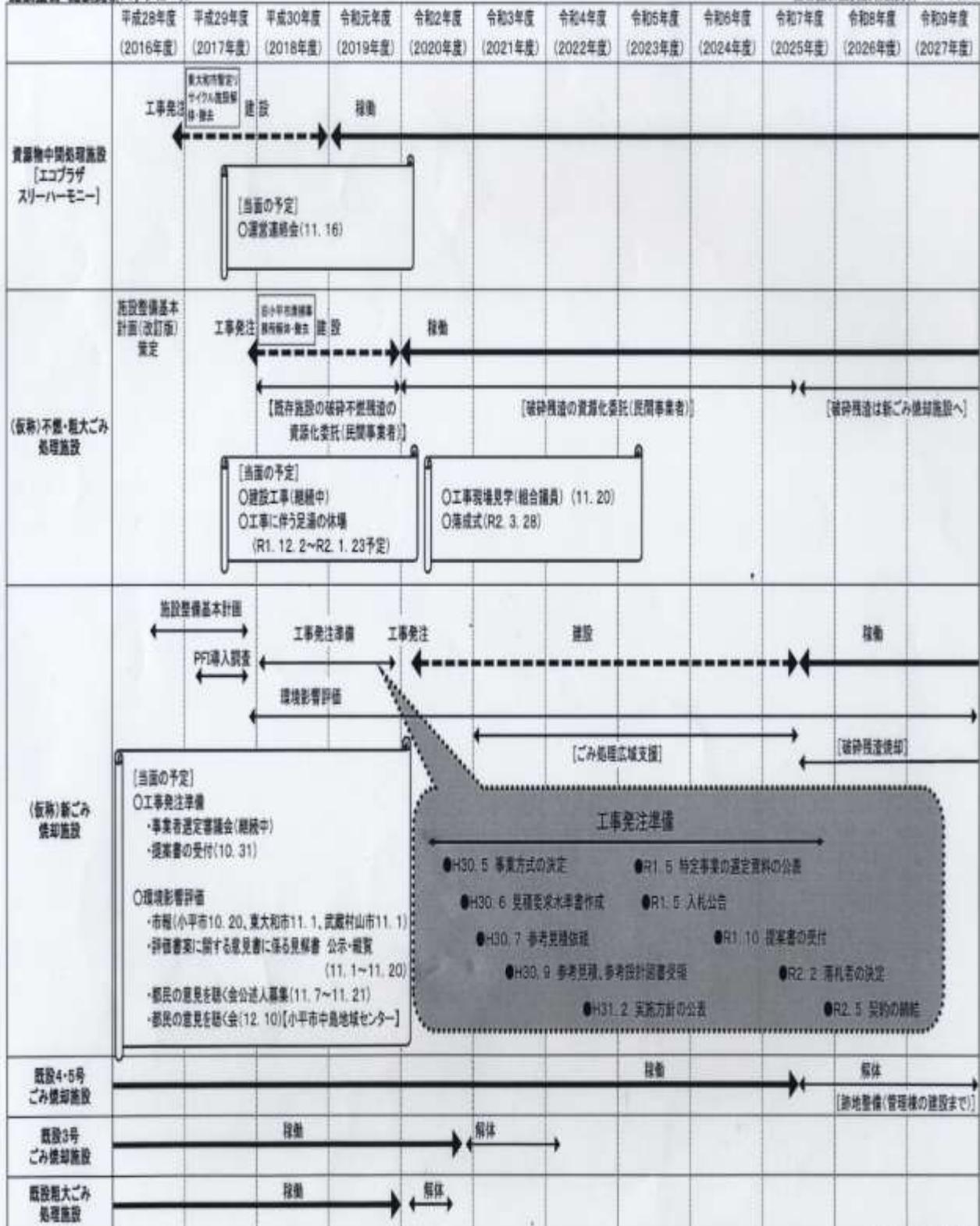
ホームページ <http://www.kmy-eiseikumiai.jp/>



えんとつさん

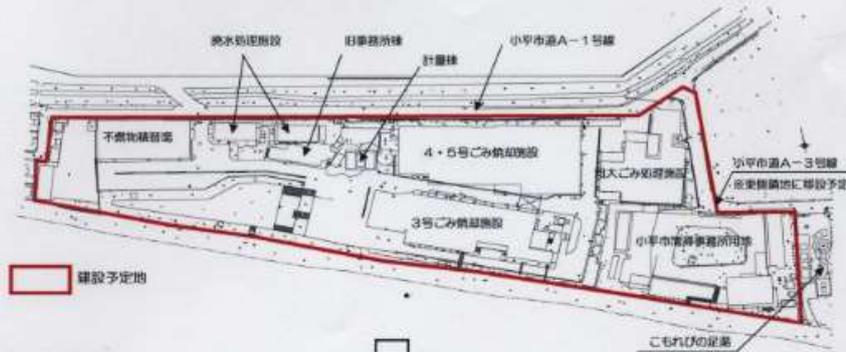
施設整備・施設更新スケジュール

組合議会議員説明会資料 R1. 10. 9

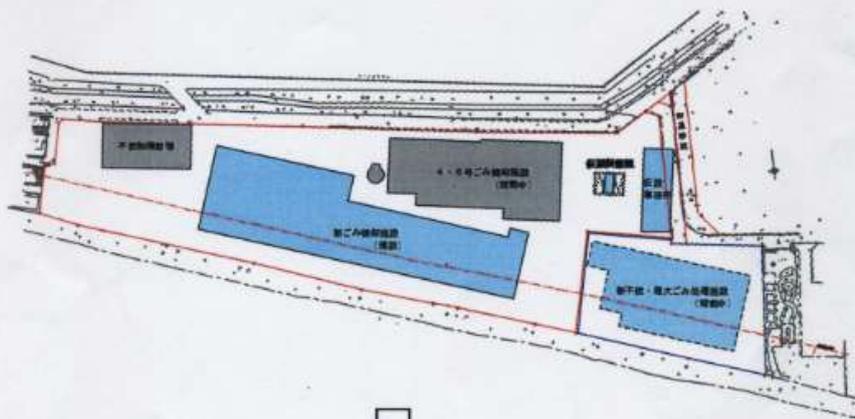


小平・村山・大和衛生組合

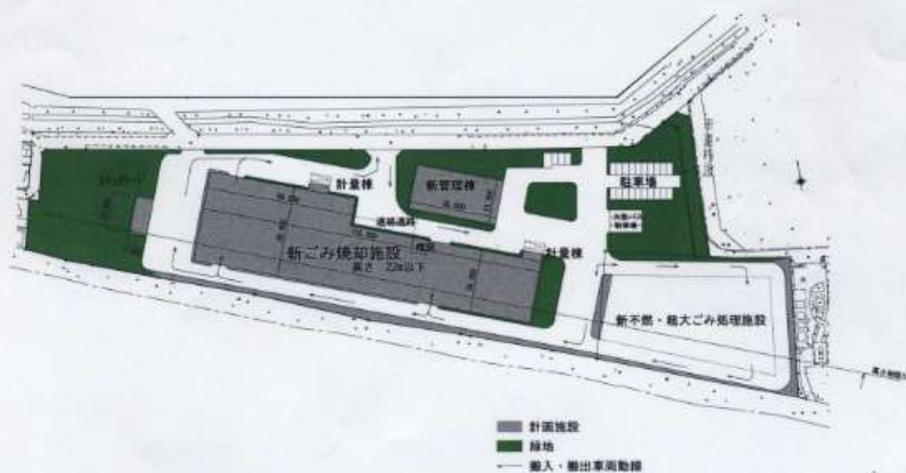
<建設予定地の現状（平成29年度）>



<新ごみ焼却施設建設（令和7年度）>



<本施設しゅん工後の配置図（案）（令和9年度）>



新ごみ焼却/不燃・粗大ごみ処理/廃プラ施設  
**公開講座のご案内**

あなたは知っていますか？

負担するのはあなたです

**参加して、疑問点  
を質問しよう**

1部 小平・村山・大和衛生組合

担当者からの報告

事前に質問事項を提出済

例) 新ごみ焼却施設の入札公告予定価格 468 億円はどのように算定され、誰がきめたのか？

2部 参加者による意見交換

日時：11月2日(土) 13時30分～16時30分

場所：南街公民館 202号室

主催 市政をみんなで考える会

問合せ：事務局長 やぎした 進

520億円を超える大事業  
大きくなり過ぎたごみ処理3兄弟